

第3学年A組 社会科学学習指導案

授業者 石井 史知
研究協力者 外池 智, 加納 隆徳

1 単元名 調べてくらべよう, わたしたちの秋田市

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

子どもたちは, 2年生の生活科で学校の周辺を探検し, 身近な地域の人々とかかわりをもったり, 店舗や施設を調べたりした。また, 前単元「わたしたちのまちはどんなまち」では, 学校の屋上から周囲を眺めた際に, 「建物が多い」「〇〇の方に〇〇がある」「道路がまっすぐのびている」との気付きが見られ, どんな建物があるのかや, 道路や交通の様子を視点として学校周辺を歩き, 調べた。そして, 分かったこと, 発見したことを地図にし, 気付きを共有した。子どもたちは実際に見学したり, 地図を作ったりしながら学習を進めることに楽しさを感じ, 調べ活動に意欲的に取り組もうとする姿が見られる。

本校の子どもたちは秋田市内の各地域から通学しており, 学校周辺とは異なる場所についての知識はあるが, 各地域の秋田市内における位置や, 地形や土地利用の違いについてはあまり意識していない。

(2) 単元について

本単元は, 自分たちの住む秋田市の様子を大まかに理解することをねらいとしている。

自分たちが住んでいる身近な地域や自分たちが通う学校の周辺地域とは様子の違うところが秋田市内には存在する。このことに気付くことによって, 市全体の様子に興味・関心を持ち, その違いを地形や土地利用の様子, 交通の広がりや様子などに着目して比較する。そして, その地域の特色をまとめることで, 自分たちが暮らす地域や秋田市に対する理解を深める。また, 本単元では, 対象とする地域が学校周辺から市全体へと広がるため, 実際に見学に行くことができない箇所は, 地図や資料など, 間接的な資料を活用して調べ学習を行う必要が生じる。そのため, 地図や資料などの読み取り方を身に付けたり, 読み取ったことを複数の条件を関連付けて考えたりすることの基礎を学ぶ機会となる。そして, **身近な地域や市の様子をとらえ, 場所による違いを考え, 表現するという資質・能力**を高めることを目指して, 秋田市の各地域の様子を調べ, 違いを比較することでとらえた特色を地図にまとめていく学習が有効と考えて設定した。

(3) 指導について

単元の導入では, 場所によって地形や土地利用, 交通の広がりや様子が違うことへの興味・関心を高めることができるように, 自分が住む地域を調べ, 紹介し合う活動を設定する。そして, 同じ秋田市内でも地域によって違いがあること, 自分たちが住む地域以外に更に広がりがあること, 自分がまだ知らないことがあることを確かめ, 市の様子について調べてまとめるという課題に向かうようにする。

市の様子について調べる段階では, 地形や土地利用, 交通の広がりや様子において特色がある「通町商店街とその周り」「市役所の周り」「秋田駅の周り」「秋田港の周り」「秋田空港の周り」「太平山の周り」「田や畑の多い場所」の7カ所を取り上げる。「通町商店街」は, 総合的な学習でも調べたりかかわったりしていくことになった場所であり, 子どもたちの関心も高いと予想される。単元の前半では先の7カ所のうち, 身近な3カ所を比較しながら特色をまとめていく。その段階で, **土地利用, 交通の広がりや様子などに着目して比較し, 違いを見いだすという見方・考え方が**, 特色を理解する上で有効であることに気付かせたい。そして, 単元の後半で調べる地域を広げ, 前半で用いた「見方・考え方」を繰り返し働かせながら特色をまとめていけるようにする。

3年生は社会科学学習の入門期であるため, 観察・調査して必要な情報を集めたり, 地図などの資料から位置や地形, 広がりや分布などを読み取ったりする技能の基礎を身に付けることができるようにしたい。そのため, 視聴覚機器を活用したり, 提示する資料の選定を工夫したり, 地図で方位や位置関係を正しくとらえたりしながら学習を進める。

3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

(1) 地形や土地利用, 交通の広がりや様子に着目し, 秋田市の様子について大まかに理解することができる。また, 観察・調査したり, 資料を活用したりして必要な情報を集め, 調べたことを地図などにまとめることができる。〈イ-1〉

(2) 秋田市の地形や土地利用, 交通の広がりなど, 地形的条件や社会的条件を関連付けて考え, 場所による様子の違いを文章で記述したり地図にまとめたことをもとに説明したりすることができる。〈イ-2〉

(3) 秋田市の特色ある地形や土地利用, 交通の広がりや様子などに関心を持ち, 意欲的に調べようとする。〈ア-5, 11〉

4 単元の構想（総時数15時間） ※「見方・考え方」を働かせた学習活動

わたしたちのまちはどんなまち			
時間	学習活動	教師の主な支援	評価（本校の資質・能力との関連）
1・2	(1) 自分が住む地域の様子を紹介し、追っ話をし合う。追っ話をし合う課題を見付け、追っ話をし合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追究する課題を見付け、ついでに、様々な地域を指名し、学校周辺のポイントを調べる。 ・ 市のために、様々な地域を指名し、学校周辺のポイントを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田市内の自分が住む地域に進んでいようとする。 (ア-5)
<p>学習問題 土地の様子や交通の広がりを調べてくらべてちがいを見付け、「秋田市紹介マップ」をつくらう！</p>			
3・4・5	(2) 地図や資料を活用して秋田市内の各場所の様子を調べる。 ・ 通町商店街の周り ・ 市役所の周り ・ 秋田駅の周り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所によって違いがあることに気付くことができるように、土地利用や交通の様子に違いがある地域の写真や資料を提示する。 ・ 土地利用や交通の様子について比較しやすいように、はじめに身近な3地域について調べていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地形や土地利用交通の広がりや様子から、それぞれの場所の様子について考えている。 (イ-1)
6・7 本時	(3) 調べた場所の土地の様子から違いをまとめ、特色をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特色について考えることができるように、土地利用や交通の様子に着目するよう助言する。 ・ 特色が適切かどうかを判断するために、対話を通して妥当性を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの場所における特色やよさを理解している。 (イ-2)
8・9・10・11	(4) 更に調べたい地域を考え、地図や資料を活用して秋田市内の各場所の様子を調べる。 ・ 秋田港の周り ・ 秋田空港の周り ・ 太平山の周り ・ 田や畑の多い場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べる地域を広げるために、地図や航空写真から秋田市の広がりをとらえるようにする。 ・ 特色を明確にとらえるために、土地利用と交通の様子や土地利用と地形の関係について問いかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地形や土地利用、交通の広がりや様子から、それぞれの場所の様子について考えている。 (イ-1)
12・13	(5) 調べた場所の土地の様子から違いをまとめ、特色をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特色について考えることができるように、土地利用や交通の様子に着目するよう助言する。 ・ 特色が適切かどうかを判断するために、対話を通して妥当性を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの場所における違いを比較し、特色やよさを理解している。 (イ-2)
14・15	(6) 秋田市紹介マップを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田市の場所ごとの特色を理解することができるように、土地の様子（地形・土地利用）・交通の様子を視点ごとに整理する。 ・ 単元を通して学んだことをふり振り返り、次年度の学習へとつなげるために、他の市町村、秋田県全体へと話題を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田市の特色やよさを分かりやすくまとめている。 (ア-11,イ-2)

○本単元で育む主な資質・能力
身近な地域や市の様子をとらえ、場所による違いを考え、表現する。(イ-2)

○本単元の学習活動で働かせる主な「見方・考え方」
地形や土地利用、交通の広がりや様子などに着目して比較し、違いを見いだす。(b)

秋田県の様子を調べ、特色を考えよう ～秋田県の広がり～ (4年)

5 本時の実際（7 / 15）

(1) ねらい

調べた場所を比較することを通して、土地利用、建造物、交通の様子の違いからそれぞれの地域の特色について考えることができる。 〈イ-2〉

(2) 展開

時間	学習活動	教師の支援 評価
3分	① 本時のめあてを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動が想起できるように、前時に考えた通町の特色を提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> 学習課題 紹介マップに載せる特色を考えよう② ～市役所の周り・秋田駅の周り～ </div>		
5分	② 市役所の周りや秋田駅の周りを比較し、どんなちがいがああるか確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> 市役所前は広い道路がある。駐車場もあって、秋田市内のいろいろなところから来やすい。秋田駅の周りは電車で秋田市外から人が来やすい。 市役所の周りには県庁や裁判所などの施設がある。秋田駅の周りは、お店の入ったビルが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所の周りや秋田駅の周りの土地利用や交通の様子の違いを確かめることができるように、建物や道路の写真、地図を掲示する。 着目した点にそって違いを比較できるように、表を用意しておく 施設や商店など、土地利用の違いに着目できるように、建築物にも目を向けるよう助言する。
34分	③ 市役所周辺や秋田駅の周りの紹介マップに載せる特色を考える。 <ul style="list-style-type: none"> 秋田市役所の向かいには県庁もあるから「利用する人にとってべんりなところ」だ。 消防署や県警本部もあるから「くらしをまもるまち」はどうか。 秋田駅前には電車やバスで来られるから「秋田市の外からも買い物に来るのに便利」。 ホテルがたくさんあるから、「遠くからも人がたくさん集まる」 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの地域の特色が伝わりやすくまとめられるように、秋田市紹介マップに載せることを想定することを確認する。 根拠を明確にするように、資料や前時までに学習したことをもとに考えることを助言する。 お互いの気づきを共有できるように、グループで話し合いながらまとめ、発表する場を設ける。 特色を表すために、市役所の周りや秋田駅の周りの違いが表現されているか問いかける。 それぞれのグループから出た特色が適切かどうかを判断するために、「対話」を通して妥当性を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 土地利用、建造物、交通の様子などに着目して、それぞれの地域の特色について考え、短文でまとめている。 〈イ-2〉（シート、発言） </div>
3分	④ 本時の学習をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> 次時の学習につながるように、特色を考えるための「見方・考え方」を確認する。